# 外客1000万人に到達

## 観光庁 成田空港でセレモニー

2013年の訪日外国人旅行者数が12月20日、1千万人に到達した。観光庁は同日、成田空港に到着したタイ人旅行者を1千万人目として歓迎するセレモニーを開いた。1千万人は、2003年1月に小泉純一郎首相（当時）が施政方針演説の中で表明して以来、政府が掲げてきた数値目標。観光立国の推進に向け、官民を挙げた取り組みが実った。

速報値では12月20日に1002万人に致達した。これまでの年間最高値は10年の861万1千人。13年の最終的な年間数値は1月中に日本政府観光局（JNTO）が推計値として発表する。

1000万人目のタイ人旅行者を歓迎。ハローキティも駆け付けた

成田空港で開かれたセレモニーで太田昭宏国土交通相は「ビジット・ジャパン・キャンペーンの開始から10年。さまざまな取り組みを集約して推進し、念願だった1千万人を突破した。さらに多くの旅行者に訪れてもらえるよう次の目標2千万人の高みを目指してがんばりたい」とあいさつした。

1千万人目としてバンコクからの全日空（ANA）便で成田空港に到着したのは、タイのパパンさん（58）、ユパーダーさん（52）のパッタラプラーシット夫妻。2人には、「魅力ある日本のおみやげコンテスト」でグランプリを受賞した「雲竜和紙ランプ」や東京往復の航空券などを記念品として贈呈した。

訪日経験が豊富で今回は北海道でスキーを楽しむ予定だというパパンさんは「1千万人達成おめでとう。日本の皆さまとお会いし、日本料理を食べるのが楽しみ。日本のサービスは世界で一番。日本に毎年来たい」と笑顔で話していた。

セレモニーには、観光庁の久保成人長官、JNTOの松山良一理事長、成田国際空港会社の夏目誠社長、ANAの伊東信一郎会長、千葉県の諸橋省明副知事、成田市の小泉一成市長が出席した。【向野悟】

## 人数は微増、額5%増

### 14年の国内旅行 JTBが見通し発表

JTBは12月20日、2014年の旅行市場の見通しを発表した。国内旅行については、人数は2億9150万人と前年対比0・2%の微増。消費増税や円安、原油高などの影響やシニアを中心とした充足感を得られる質の高い旅行を求める動きから、旅行消費額は人数の伸びを上回る5・3%増の10兆3900億円と推計している。

4月の消費増税で、増税前の駆け込み需要が期待される。増税後の落ち込みも懸念されるが、企業業績回復のすそ野が広がり、失業率の改善、株高、賞与増など後半の盛り返しが期待される。

消費マインドは、東日本大震災をきっかけとした、節約する部分とお金をかける部分とのメリハリ消費がさらに進む。シニアの消費や旅行意欲はある程度底堅いという。

3月に日本一の超高層ビル「あべのハルカス」が開業、年後半にはユニバーサル・スタジオ・ジャパンにテーマパーク「ハリー・ポッターの魔法の世界」がオープンし、大阪への注目が高まる。東京でも日本橋・八重洲地区の「COREDO室町2・同3」、虎ノ門・新橋地区の「虎ノ門ヒルズ」など複合ビルの開業が相次ぎ、都市部への旅行が増えると見込まれる。

訪日旅行は、円安傾向の継続に加え、富士山や和食が世界遺産に登録されるなど日本への関心の高まりから、回復傾向が続くと予想。過去最高の13年よりも14・3%の増加となる1180万人と推計している。

海外旅行は2・1%増の1780万人、消費額では5・2%増の4兆8700億円を見込む。

耐震改修促進法の改正については「耐震診断で耐震改修が必要と判断された場合、避難所等の防災拠点として指定された場合は事業所負担率が20～27%に軽減される制度があるのでぜひ活用してほしい」と助言。

消費税の外税化については「消費税転嫁対策特別措置法の施行により、13年10月から27年3月末日まで、税抜き価格（外税表示）が認められた。消費税の価格転嫁が難しい中小企業に配慮した法案だ」と評価し、活用を促した。

## 国際女将会 12月定例会を開催

### 全旅連・佐藤会長が講演

日本旅館国際女将会（若松佐代子会長）は12月19日、12月定例会を東京都千代田区の全旅連本部で行った。全旅連の佐藤信幸会長が「業界が抱える喫緊の課題とその対応～建物に係る固定資産評価の見直し・耐震改修促進法の改正・消費税外税化」と題して講演した。

旅館・ホテルの建物に係る固定資産評価の見直しについて佐藤会長は「鉄骨鉄筋コンクリート造り、鉄筋コンクリート造りの建物で、最も低い税額に到達するまでの期間を示す経過年数を50年から45年に短縮することが12日に決まった。業界全体で49億円の減税効果がある」と説明。その上で「与党には36年を要望してきたが、今回見直されるのは旅館・ホテルだけ」と全旅連の活動の成果を強調した。

## 総合

## 創立40周年式典開催を決定

### 秘湯守る会総会 記念スタンプ帳発行

あいさつする佐藤会長

日本秘湯を守る会（佐藤好億会長、184会員）は12月19日、静岡県・熱海温泉の大観荘で2013年度通常総会を行った。14年は会計年度で40期を迎えることから、創立40周年記念事業を開催し、記念スタンプ帳の発行や式典を12月に開催することなどを決めた。

冒頭あいさつした佐藤会長は、40周年を迎えるにあたり「次の40年に何をなすべきか問われる年になる。昨年策定した『遵守すべき事項11カ条』をしっかり守り、次の世代に会を引き継がなければならない」と強調、その上で「会員宿が地域の貴重な文化財になるよう、努力してほしい」と激励した。

40周年記念事業については13年12月から14年11月を40周年として、1年をかけて記念事業を展開する。会の主幹事業である「スタンプ押印事業」は、40周年を記念して自動読み取り式のスタンプ帳にリニューアルする。また、40周年記念デザインのスタンプ帳を限定で発行するとともに、スタンプ一つをプレゼントする新規カード発行キャンペーンも行う。

記念式典は12月15日に創立記念の場所である東京・上野の精養軒で行う。メーンテーマは「継承と共創」とし、会の理念である「共生」の精神を継承することと、会の仲間とともに未来を創造、発展させ「共創」していくことなどの想いを込めた。

式典の内容については、記念講演や桧枝岐歌舞伎などの催しのほか、会員宿の宿泊券が当たる抽選会などを行う。会員以外の一般の参加者も夏頃にウェブで募集する。

式典の幹事は次世代を担う若手が中心となっており、会の若い層への期待が込められている。

**源泉湯宿を守る会が朝日旅行会の部会に**

総会には朝日旅行から井沢啓社長はじめ役員らが出席。また、来賓として大山正雄・日本温泉協会会長、星野寛治・日本の宿を守る会副会長らも出席した。

源泉湯宿を守る会名誉会長の平野富雄氏は来賓あいさつで、同会が朝日旅行の部会の一つになり、名称を「日本源泉湯宿を守る会」に改め、再出発したことを明らかにした。

最後にあいさつした井沢社長は「2020年に東京五輪開催が決定し、世界に日本の文化や自然など、日本の美しさを売り込むチャンスが広がった。温泉や秘湯、当会の魅力は国内外で注目されるだろう」と述べ、秘湯を守る会ならではおもてなしを忘れないでほしいと会員に理解と協力を求めた。【遠藤真澄】

## 竹内美樹の 口福（こうふく）のおすそわけ 21

## 蟹かにワールド！ その1・津居山蟹

冬になると食べたくなる食材の一つが、蟹。その種類は山ほどある。年末に、「三大かに付き！」というおせちをよく見かけたが、これは毛蟹、タラバガニ、ずわい蟹の3種類がついたもの。中でもずわい蟹はさまざまな名称があるので、一筋縄ではいかない。

ここでちょっとおさらい。ずわい蟹は、日本海、北太平洋、オホーツク海、ベーリング海などに広く分布するが、山陰地方で獲れたものは松葉蟹、越前なら越前蟹など、地域によってブランド名がある。水揚される漁港ごとにブランドタグがついていることが多く、たとえば、京都北部の間人港に水揚される「間人蟹」は緑色の丸タグ。これは本物の証として、大きさ、重さ、身詰まりなど、全ての条件を満たした蟹だけに与えられる。厳しく管理されてこそ、ブランド力が高まるのだ。

この間人蟹、港も船も小さい上、たった5隻の漁船しか操業しておらず、しかも冬の日本海は時化が頻発するため、安定した水揚げができないことから、幻の蟹とも言われている。

それに負けず劣らず高品質で、山陰屈指のブランドとされるのが「津居山蟹」。兵庫県津居山港に水揚げされるこの蟹は、間人と同じくその日のうちに港に戻る日帰り操業が多いので鮮度も抜群。蟹を模った青色のブランドタグには、表面に「兵庫県」、裏面に「津居山港」と並んで船名が刻まれ、地元と漁師のプライドが垣間見える。

ここ数年、この「津居山蟹」を食べに兵庫県最北端まで行くのが、筆者の年中行事の一つ。お目当ての蟹をいただくのは、「奥城崎シーサイドホテル」。今年も岩井美晴社長が、素晴らしい「津居山蟹」をご用意下さった。まずは、シンプルに身とミソのうま味を堪能できる茹で蟹。「豊津丸」と船名の入った青タグのその蟹は、姿・形が見事で身がぎっしり詰まっており、ミソもバッチリ。このおいしさを文章にするのが無粋に思えるほどの味わいを満喫しつつ、料理長が運んで下さった活け蟹を見て、「おぉ～っ！動いてる！」と、毎年のことなの漁師さん達、おいしく調理して下さる方々、全ての皆さまに感謝しつつ、14年もどうぞよろしくお願いいたします。

※宿泊料飲施設ジャーナリスト。数多くの取材経験を生かし、旅館・ホテル、レストランのプロデュースやメニュー開発、ホスピタリティ研修なども手掛ける。

お鍋。新鮮だから、3回ほどしゃぶしゃぶしゃぶ、と鍋をくぐらせれば十分だ。そして蟹のうま味溢れる出汁で、締めの雑炊。その頃には、すっかりお腹が一杯になっていて後悔するのも例年のこと。学習能力がないだけでなく、この蟹は人の思考能力を停止させるほどのおいしさなのだ。

厳寒の荒海で格闘し自然の恵みを届けてくれる漁師さん達、おいしく調理して下さる方々、全ての皆さまに感謝しつつ、14年もどうぞよろしくお願いいたします。

※宿泊料飲施設ジャーナリスト。数多くの取材経験を生かし、旅館・ホテル、レストランのプロデュースやメニュー開発、ホスピタリティ研修なども手掛ける。

## JTB国内旅行企画 社長に大谷取締役

大谷恭久氏

JTBは12月20日、4月1日から運営を開始する新会社「JTB国内旅行企画」の社長に旅行事業本部長、国内商品事業本部長の大谷恭久取締役を充てる人事を発表した。

JTB国内旅行企画は、国内旅行の仕入、商品企画、商品造成を担う。社員数約千人、14年度目標売上額3千億円という最大規模のグループ会社となり、「この会社の成否がJTBの成否を握っている」（田川博己社長）。

## リョケン 旅館大学セミナー H金波楼で開催

リョケンは12月17、18日、ホテル金波楼（兵庫県豊岡市）で第152回目の「旅館大学セミナー」を開催した。

1日目はホテル金波楼の、06年にオープンしたダイニング「餐（SAN）」や10年オープンの高級客室「時じく」などを見て回った。講座では「〝行ってみたいホテル〟のために～ホテル金波楼の取り組みに学ぶ」（今津一也常務支配人）と平成25年「元気印の旅館」紹介（リョケンの塩越一秀専務）を行った。

今津支配人＝写真＝は金波楼グループの概要、旅館・ホテルを取り巻く環境についての対応のほか、ホテル金波楼プランドを構築するために取り組んだ中期経営計画「感動プロジェクト」などについて説明。

「餐（SAN）」のオープンにあわせて、料理の部屋出しを原則廃止し、客室係の人員を削減。年間約5千万円のコストカットを実現し、従業員の高齢化や求人難という問題の対策にもなったという。同時に、地産地消の観点から地酒の利き酒セットを販売。消費単価のアップにつなげた。客室については、「岬の館」棟の客室を団体客向けに、「渚の館」の「時じく」を個人客向けに展開、成功している。今津支配人は「リニューアルやブランド力の向上について、リョケンによるアドバイスが奏功した」と話した。

2日目は、14年の経営課題をリョケンが提案する恒例の「平成26年旅館の経営指針」を発表。14年のテーマは「旅館経営・新世代へ～夢を描こう！実現しよう！」。佐野洋一・リョケン社長の基調講演などが行われた。

**LCC計画のリンク 自己破産、負債9億 帝国データ発表**

帝国データバンクによると、格安航空会社（LCC）運航を計画していたリンク（福岡市、代表・土佐谷昭氏、資本金2億3005万円）は12月17日、福岡地裁に自己破産を申請した。負債は約9億円。

同社は2012年4月に定期航空運送を目的に設立。主要都市と近距離地方都市を結ぶ日本初リージョナルLCCを標榜。しかし、出資の引き受け先が決まらないなど、就航時までに必要な運転資金調達のめどが立たず就航計画を断念。

**◎JTB人事**

2月1日付

取締役旅行事業統括国内商品事業本部長、4月1日JTB国内旅行企画社長就任予定（取締役旅行事業本部長、国内商品事業本部長CS推進担当）大谷恭久▽執行役員旅行事業本部長CS推進担当（執行役員旅行事業本部副本部長〈法人事業・航空政策統括〉▽兼航空政策チームマネージャー

## WEBマーケティング

### インターネット 徹底集客 第92回

## 2014年GWの販売戦術について

新年明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願い致します。

今回のテーマは「2014年ゴールデンウイーク（GW）の販売戦術について」である。年明けにGWの話かと思われる方も多いかと思うが、4月以降の消費税への対応も決まり始め、ウェブ予約においても春の勝負どころであり、ここでいったん、考察しておきたい。

既にカレンダーをご覧頂いた方はお分かりだと思うが、今年のGWの日数は11日間と昨年より1日多いが（来年は12日間）、日並びが良いとは言えず、宿泊業界にとってはベストとは言えない。端的に言うと、連休の形になっているのが5月3、4、5、6日のみなのである。つまり、裏を返せば3、4日に旅行者が殺到し、それ以外の日程はいつものGWよりは弱いだろうという見通しである。

5月5日の論争は毎年あるが、近年の動向を見ていると6日の渋滞を避け、最終日を家でゆっくりと過ごそうと考える方が多いため、5日の宿泊需要は4日よりも明らかに落ちる傾向にある。4月は辛うじて、26日に需要がありそうであるが、29日が飛び石連休になっているために、それ以外の日程は販売というケースである。そうならないためにも、また早期の予約を獲得するためにも、今のうちから販売しておくことがまず第一歩である。

ポイントは前述した需要の見通しの通りであるが、5月3、4日は高需要を見越した設定が重要であるので、高需要時の価格設定をしつつ、常連以外の販売については3人～、または4人～とすることで1室あたりの売り上げをどこまで高められるかが収益最大化のポイントとなる。

逆に27日～2日については、いったん、低需要予想で商品出しを行い、稼働が伸びてきた時に、早割などのお値打ちプランなどをカットしていく戦術が良いかと思う。成功している施設は、毎年GWの日別販売目標を立てている。前もってきちんと対策を立てておきたい。

（株式会社アビリティコンサルタント　的場弘明）＝隔週掲載

## ことばでおもてなし

文・題字 山口謠司

### 箸は橋 第20話

カワの川で箸が流れてくるのを見て、川上に誰かが住んでいることを知り、上流に上がっていくとヤマタノオロチの生け贄にされる寸前のクシナダヒメと出会うという話である。いうまでもない、クシナダヒメはスサノオノミコトの妻となる女性である。

ただ、このころの箸は、ピンセットのような形をしていたようである。正倉院の御物としても桧や杉、銀製の「鉗（かうはしばさみ）」と呼ばれるものが所蔵されている。

しかし、まもなく、中国から今のような二本で一対になったものが伝わり、「唐箸」と呼ばれ、いずれこれが多く使われるようになった。

箸の種類は、非常に多い。祝い箸、利休箸、盛り付け箸、菜箸、菓子箸、天ぷら箸など、ちょっと思いつくものを挙げただけでもこれくらいはある。それぞれの食の材料や用途に合わせて作られたものであるが、このうち利休箸は、茶会の会席料理で用いられる。杉で作った角箸の面を取り、両端を細く削ったもので、利休の考案によるという。これは、取り箸と銘々箸を区別するための形なのである。そして、この箸が「お手元」と呼ばれるようになる。

ところで、箸の使い方は、その人の育ちをよく表すと言われる。

有職故実に詳しかった伊勢貞丈（1718～1784）が書いた「貞丈雑記」には、次のような箸使いのエチケットが書かれている。

○移り箸　料理をひとくち食べたら、次はごはんを口にすべきである。料理から料理に箸を移すことをいう。

○うら箸　食べようと箸をつけながら、やめること。

○さぐり箸　食器の中に、自分の好きなものはないかと探すこと。

○回し箸　汁物の中を、箸でかき回すこと。

もっとあるが、これくらいにしておこう。

懐石では、ご飯粒が箸に付かないように、あらかじめ水に浸けておいた竹箸や利休箸を、客が席に着く直前に差し出すことになっている。

こうした心遣いのある箸が添えられた料理は、それだけでも嬉しくなってくる。

（中国学博士。大東文化大文学部准教授。著書に「漢字はすごい」＝講談社現代新書など多数）

## 省電力・高機能実現 プロジェクター発売 NECディスプレイ

NECディスプレイソリューションズはこのほど、プロジェクターの「ビューライトシリーズ」の新製品を3機種発売した。DLP方式を採用した「NP－V311XJD」「NP－V311WJD」「NP－V281WJD」＝写真＝は、省電力設計に加え、3D映像投影にも対応するなど機能も充実。設置と片付けも素早く行えるよう工夫されている。

3機種とも映像と音声をケーブル1本で伝送できるHDMI端子を装備。省エネモードを選択するとランプの交換時間を最大5千時間まで延長することができる。

また、7Wのモノラルスピーカーを内蔵しているので広い会場でも十分対応できる。

3機種は画素数や明るさ、画像サイズなどがそれぞれ異なる。

オープン価格。問い合わせ先は、NECプロジェクター・カスタマサポートセンター☎0120（610）161。

本年も変わらぬご支援を心からお願い申し上げます。

JTB協定 旅館ホテル連盟

名誉会長　田川博己
会長　福田朋英
副会長　大谷恭久
〃　大西雅之
〃　久保田浩基
〃　小林庄一
〃　渡邉幸一
〃　藤本正孝
〃　豊田康裕
〃　小田修
専務理事　髙橋威男
専務局長　北見明弘